

常任理事会としては、案①の全会員に無料で配布する方向で計画を進めることになった。

なお、発行の是非そのものを含め、最終的にどの案を採用するかは、平成10年4月頃、アンケートにより会員の意志を確かめて決定することになる。

7. その他

・オゾン連絡研究連絡会代表の交代

2000年の国際オゾンシンポジウム開催に向け、代表が気象学会理事長代理関口理郎氏から東京大学小川利紘教授に交代した。

第15回風工学シンポジウム開催と発表論文募集

第15回風工学シンポジウム運営委員会

主催：日本学術会議災害工学研究連絡委員会

共催：土木学会，日本気象学会，日本建築学会，日本風工学会，電気学会，日本鋼構造協会（幹事学会）

期日：1998年12月2日（水），3日（木），4日（金）

会場：日本学術会議講堂

〒106-0032 東京都港区六本木7-22-34

TEL：03-3403-6291

発表論文の募集

1. 課題

(a) 風の性質，(b) 環境と風，(c) 風災害，(d) 気流，風圧，風力およびその制御，(e) 構造物の応答およびその制御，(f) 耐風設計，(g) 計測方法・風洞実験法，(h) 数値解析法，(i) その他風工学に関するもの

2. 応募論文原稿

- 1) フルペーパーにより査読を行う（採否の判定基準は査読付きの共催学協会の論文集と同程度とする）。
- 2) 英文での投稿も可とする。
- 3) ページ数は6ページ又は4ページを厳守のこと。
- 4) ワープロなどによってオフセット印刷用完成原稿（フルペーパー）を作成する。
- 5) 投稿者は登載が認められた場合には、論文1編あ

たり10,000円の登載料を負担する（別刷50部を無料進呈する。ただし、別途注文は受け付けない）。

6) 口答発表は一人1件に限る。ただし、複数論文の連名は可能である。

3. 投稿要領・原稿用紙の請求及び提出先・問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸ノ内3-3-1 新東京ビル

社団法人 日本鋼構造協会

第15回風工学シンポジウム運営委員会事務局（担当 寺尾幹人）

TEL：03-3212-0875

FAX：03-3212-0878

4. 原稿提出締切日

1998年5月29日（金）必着とする。締切後、ただちに査読作業に入るので遅延は一切認められない。提出は所定の原稿用紙のコピー（A4縮小判）4部とする。

5. 査読・論文集刊行の日程

日程の概略は以下のとおりである。

- 1) 論文採否・査読意見の通知：1998年8月上旬
- 2) 修正後の最終印刷用オリジナル原稿（B4判）の提出：1998年9月10日（木）
- 3) 論文集の刊行：1998年11月上旬